

普及現地情報

発信年月日:令和7年(2025年)9月26日
所 属 名:東近江農産普及課
番 号:D25018
発 信 者 名:井上、近藤、西川



イチゴの栽培研修会を開催！

9月10日に管内イチゴ生産者で組織する東近江地域少量土壌培地耕イチゴ栽培研究会の栽培研修会を開催し、生産者22名の出席がありました。当課からは、適期管理ができるよう定植時期の栽培管理を中心に説明しました。

東近江地域少量土壌培地耕イチゴ栽培研究会は管内のイチゴ生産者39戸が会員となって、技術研鑽と情報交換を目的に組織化され、当課は運営の支援を行っています。

今回の研修会では、育苗期の生育状況を振り返るとともに、定植に向けた管理と定植後の葉数やベットの被覆のタイミング・資材等栽培管理について説明しました。特に、定植後も気温が高いことが見込まれることから、花芽分化後定植や換気・遮光管理の必要性和、本ぽハウスでのハダニ類やアザミウマ類、炭疽病など病害虫の発生拡大を抑えるための防除の実施について理解を深めてもらいました。また、育苗期間中にハウス内温度が45度程度まで上がるハウスも確認されたことから、各生産者の苗の仕上がりを踏まえ、次年作に向けた猛暑対策技術を提案し、導入を検討してもらいました。

研修会では、定植後の葉数やベットの被覆のタイミング・資材等栽培管理について活発に質問が飛び交い、研修会終了後も当課職員を交え生産者間で意見交換が行われ有意義な研修会となりました。

当課は、今後も生産者の栽培技術向上と技術研鑽、交流の場づくりを支援していきます。



栽培管理について説明